

古墳を探検する前に

古墳探検マニュアル*はじめに

新聞やテレビで、「古墳から剣が出土した」「県内最古の古墳が発見された」などと報道されることがよくあります。「こうした報道を見ると、まるで古墳は珍しい存在のように思われがちですが、実際には私たちの身のまわりには、非常に多くの古墳があります。しかしその存在を知っている人は、意外に少ないようです。

古墳の探し方から歩き方までを紹介

近くに古墳があることを知っていても、見学に行つたことはいない、という人は多いと思います。ましてやその古墳がいつ、どんな人を葬つたお墓なのかを知っている人は、ごく少数でしょう。そこで本書では、古墳を自分で実際に探したり古墳にもっと親しむために必要な、地図の見方から古墳の歩き方まで、具体的な方法を紹介します。

冒険心を求めて、古墳探検に出かけませんか

子供のころ、近くの野山の中にはいつて遊んでいるうちに、大きな穴や不思議な形の石を見つけたことがありますか。ひと昔まえまでは、身近に「こうした探検」する場所がたくさんありました。しかし最近の子供たちは、「こうした体験をあまりしていないようです。」
「クワッドキドキしながら、何かを発見する」楽しさは、子供たちにぜひ味わってもらいたいものです。さらに「こうした冒険心は、大人になっても持ち続けてほしいものです。本書の後半では、島根県内にある古墳をできるだけ多く紹介しました。これらの古墳を実際に探検することで、冒険心を味わい、地域の歴史を探検していただくことができれば、幸いです。

一般に「古墳」と言つたとき、「古いお墓」「大きな山の中にあるお墓」「よくわからないけれど、地面の下から出てくるお宝のもの」などをさまざまなイメージがあるようです。「この本では古墳を知っている方にも、全然知らない方にも、いつもと違う見方で「古墳」を再発見していただきたいと思ひます。みなさんを古墳へと案内する古墳探検隊を紹介する前に、まず古墳の基礎知識を述べておきます。

- 1 古墳とは古墳時代(約一七〇〇年前〜一三〇〇年前)のお墓です。
- 2 古墳は身近な場所にたくさんあります。
- 3 ほとんどの古墳は、土を盛って造つた小山のようない「墳丘」を持ち、その形や大きさに大きな意味があります。
- 4 墳丘の表面はもともと石で覆われていたり、埴輪が立てられていたものもあります。
- 5 墳丘の中には死者を納める棺や、その棺を納める室があり、これには多種多様なものがあります。
- 6 棺や室の中には、死者への贈り物が納められています。「これを「副葬品」と言い、身分や時期によって違いがあります。
- 7 古墳に葬られる人は限られた人たちです。
- 8 古墳はみんなの貴重な財産です。勝手に掘ったり、見つけた埴輪や土器などを持ち帰らないでください。

年表

1,300年前	1,400年前	1,500年前	1,600年前	1,700年前
奈良時代 古墳記・日本書紀が書かれる。	終末期 (飛鳥時代) 聖徳太子が活躍する。	後期	中期	前期
古墳時代				
弥生時代・墳丘を持った墓が造られる。				

私たちがいつしよ、古墳を探検しよう!



それでは探検隊を紹介します。みなさんも彼らといっしょに古墳探検の旅に出発してください。

目次

古墳探検マニュアル	2
古墳を探検する前に	3
探検隊に入門する	4
古墳を探そう*古墳のある場所	4
歩いてみよう*古墳の形	6
足をよく見よう*古墳を飾るもの	10
石を見つめよう*主の眠る場所	12
訪ねてみよう*主への贈り物	16
一目でわかる古墳の見方・調べ方一覧表	18
古墳なんでもランキング	20
島根県内の古墳を探検する	21
エリア1・安来市・能義郡	22
エリア2・島根半島	23
エリア3・松江市とその周辺	25
エリア4・宍道湖南岸	26
エリア5・出雲市とその周辺	28
エリア6・奥出雲	30
エリア7・石見海岸東部	31
エリア8・石見山間東部	33
エリア9・石見海岸西部	35
エリア10・石見山間西部	36
エリア11・隠岐島前	37
エリア12・隠岐島後	39
古墳Q&Aコーナー	41
あとがき・古墳時代の島根県	44